



コテ付きハンディースチームガン 取扱説明書

株式会社 サン京都

〒600-8885 京都市下京区七条通り春日下る一筋目西入る
TEL(075)315-2808代 FAX(075)321-1895
URL—<http://www.sunkyo.com> MAIL—info@sunkyo.com

ハンディースチーム取扱説明書

この度は、コテ付きハンディースチームをお買い上げ頂き、誠に有難う御座います。
未永くご使用頂く為に、下記の使用法を良くお読みの上、正しくご使用下さいますようお願い致します。

【特 徴】

コテ付きハンディースチームは、ボイラー等の配管が一切不要で、100Vの電源だけで柔らかくて強力な蒸気を安定して連続的に出せます。

又、蒸気量の調節やコテとスチームの切替えも、ダイヤル操作で簡単に出来ますので、黄変抜きや残留色素抜き、又、その他熱を必要とする薬品などの処理に、変化を確認しながら使用できます。

【付属品及び各部名称】

コテ及びスチームノズル



フック

固定台を使用しない場合は、フックを使用して掛けやすい所に掛けて下さい。

コントロールダイヤル

左右に回す事により蒸気量の調節及び蒸気とコテの切替えが出来ます。

水タンク



注水口&注水口キャップ

付属の注水ボトルを使用して水を入れて下さい。

固定台

裏面の両面テープを剥がして任意の場所に貼り付けて下さい。



注水ボトル

黄変抜き液
104-A 液

黄変抜き液
104-B 剤

(A液9 : B剤1 の割合で混合して下さい。)



黄変抜き剤中和剤
104-C 液

(5~10倍に薄めて使用して下さい。)

【本体使用法】

- ① まず、電源を入れる前に、注水口キャップを取り外して、注水ボトルで注水口よりタンクへ水を注入して下さい。
※ 注水は必ず精製水等をお使い下さい。水道水を使うと水中の不純物等がヒーターに付着して蒸気の出が悪くなる事があります。
- ② 使い始めの時のみ、タンクの水をフィルターが吸い上げるのに少々時間がかかりますので、2～3分程してから電源を入れるようにして下さい。
2度目の使用時からは待つ必要はありません。
- ③ 電源を入れ始めた時のみヒーターが温まるまで、30～40秒ほどかかります。
使い続ける時は、その都度電源を切らずに、コントロールダイヤルをコテの位置にした状態にしておくことと蒸気が止まってタンクの水が減りません。
- ④ コントロールダイヤルを回すことによって蒸気の調整と、コテと蒸気の切替えが出来ますので、用途に合わせ、調節してご使用下さい。コテ先は特殊加工がしてありますので、耐薬品についても優れています。

【固定台】

- 付属の固定台はハンディースチーム本体を常時置きやすい場所に、裏面の両面テープを剥がして貼り付けて下さい。ハンディースチームの裏側にマグネットが埋め込まれていますので、固定台の上を立てると倒れにくくなります。又他の鉄部の上に置いて頂いても結構です。
- コテ付きハンディースチーム本体にもフックが付いていますので、何処か掛けやすい所に掛けて頂いても結構です。

こんな場合は……。

症 状	原 因	対 処 法
コテ部が熱くならない。	電源は入ってますか？	本体からの電源コードがコンセントに接続されているか、またコードの中間 SW が ON になっているかご確認ください。
	タンクに水が無い状態で長時間空焚きをされた事は無いですか？	安全のため、安全装置の温度ヒューズが切れたものと思われます。温度ヒューズの交換が必要となりますので販売代理店又は当社にご連絡下さい。
コテ部は熱いが蒸気が出ない。	タンク上部に空いている空気穴がホコリ等でふさがってませんか？	タンク上部後方の小さい空気穴がふさがっていると、タンク内が真空になり、フィルターが上手く水を吸い上げなくなります。エア等でホコリを吹き飛ばして掃除して下さい。
	タンクに水が無い状態で複数回空焚きをされた事は無いですか？	空焚きにより、フィルターが痛んでしまい、水を上手く吸い上げない状態になっているものと思われます。フィルター交換が必要となりますので販売代理店又は当社にご連絡下さい。
ノズルから水滴が落ちる	電源入れて暫くの間は、ノズル自体が完全に温まっていない為に水滴が落ちる事があります。	電源を入れてから5～10分ほどでノズルが完全に温まり、その後は水滴は出なくなります。 解消出来ない場合はヒーターの故障が考えられます。お手数ですがご購入店にご連絡頂きますようお願いいたします。

御 注 意

- タンク内に水が入っていない状態で、コントロールダイヤルを蒸気の位置にしての空焚きは絶対にしないで下さい。本体内のフィルターが焦げ付き、蒸気が出なくなる事があります。
- タンクに入れる水は、必ず精製水等をお使い下さい。水道水を使うと水中の不純物等がヒーターに付着して蒸気の出が悪くなる事があります。
- 一日の仕事が終わった後、必ず電源を切って下さい。
- コテ先は非常に高温になっていますので、取扱には十分注意して下さい。

【薬品】

付属の薬品は、主に黄変抜き用としてご使用下さい。

No.104-A・Bセット(黄変取り)は、すべての生地に使用できますが、ものによって色が抜ける場合もありますので必ず目立たない所でテストを行ってから使用して下さい。
(カシミヤ・アンゴラ・パシュミナ・モヘア等は深追いしない事!)

No.104 は(A液 9):(B剤 1)の割合で混合して使用します。(目安で結構です)

(A & Bの混合液)及び(精製水で薄めたC)は時間が経過すると徐々に効果が弱くなります。
より良い作業をしていただく為にも1日毎に作り直して頂く事をお勧めいたします。

No.104(黄変取り)の通常的使用方法

☆ No.104-A & B 混合液(酸性系薬品)

テストを行っても、地色に異常がない場合は、シミの部分にNo.104混合液を筆等で塗布し、ハンディースチームガンで蒸気を当てます。ハンディースチームガンの蒸気は高温ですので、生地によっては溶ける恐れがありますので、生地にノズルを近づけ過ぎないように注意して下さい。(3~4cm位でOK)
ききめが弱い場合は、筆で塗布しながら蒸気を当てると速く漂白できます。

☆ No.104-C 中和

漂白作業が終了しましたら、精製水等で5~10倍に薄めたNo.104C(中和剤)又はサビ取りスポットA(中和用に1~3%位に薄めたもの)や、氷酢酸(2~3%)で中和してから、バキュームで吸引させながら水のシルクビートガンで十分にすすいで下さい。

No.104混合液で漂白して若干黄ばみが残る場合でも、サビ取りスポットA(中和用に1~3%位に薄めたもの)や氷酢酸(2~3%)の酸性系で中和すれば黄ばみを除去できる場合があります。

※ ウール等の生地には色の発色をよくする為、蛍光剤を含んだものがあります。
この場合、酸化漂白すると逆に黄色く変色することがあります。
これを、戻すにはスポットAか氷酢酸2%で中和すれば黄変と同時に変色も除去出来ます。

No.104-A & Bセット(黄変取り)の上手な使用方法 (色素の若干弱いもの)

色素の弱いものは、漂白しようとする場所を最初に水で濡らしておいてからNo.104混合液を筆で塗布しハンディースチームガンにて蒸気をあてます。

No.104原液で漂白するよりも、水でぬれている分薄まり、やわらかく漂白できます。(ボカシ抜き)

色を飛ばさないコツ

- ① 必ず、目立たない所でテストをする事。
- ② たくさんシミがある場合、小さい所からスタートする事。
- ③ 小さいシミがない場合、シミの一部でテストをする事。
- ④ 生地の温度が染の温度を超えない事。(蒸気を当てすぎない。時々、生地の温度をさます事。)
- ⑤ シミの部分より大きめに生地を濡らしてから漂白剤を塗布する。(ぼかし抜き)